

蓬峠から清水峠

L 田中健、手塚紀恵子、山崎義男

94年3月26日（土）～27日（日）

蓬峠から大えぼし山を経て宝川をめざしたが、天候不良のため清水峠から下山した。26日早朝の新幹線に乗り越後湯沢まで行き、快速に乗り換え少し戻って土樽駅で下車し、AM9時には土樽駅を出発した。暑いくらいの良い天気である。すぐにシールをつけて登山道沿いに登り初めるが、暑さとザックの重さでピッチはあがらない。沢沿いに進んだ後、尾根上の冬道を登る。少し急な斜面を登って尾根に出る頃には風も強くなり、雲も広がってきて、天気は下り坂である。我々の他に2パーティ程登ってきたが、皆蓬峠に向かっている。我々は稜線上の鉄塔を目標に清水峠に進むが、ガスが次第に濃くなってきて、七つ小屋山の下りで視界がほとんどなくなってしまい、しばらくガスがきれるのを待つ。わずかなガスの切れ間にルートが確認できたところで安心して清水峠を目指す。清水峠の上で丁度ガスが晴れ、三角屋根の送電線監視所の隣に小さな清水峠小屋が見えた。ここから清水峠までの下りが本日唯一の滑降だが雪はクラストぎみで、荷物も重いので転ばないように滑るのが精一杯だった。小さな避難小屋だが、快適に寝ることができた。

翌日起きしてみると外は風も強く、視界もないので、朝飯を食べて天気待ちとなる。結局、ガスは晴れず、登川沿いに下山することにする。1504mのピークを越え登川沿いの夏道のある尾根の鉄塔を目指して滑降する。この部分が昨夜降った新雪が適度に積もって快適な滑降を楽しめた。後は登川に降りて、沢沿いにスキーを滑らせ15時30分頃清水に着いた。

コースタイム：26日：土樽9時5分—尾根上12時25分—稜線13時30分
—七つ小屋山14時35分—清水峠小屋17時0分
27日：清水峠小屋10時30分—1260m 11時50分—
清水15時30分